



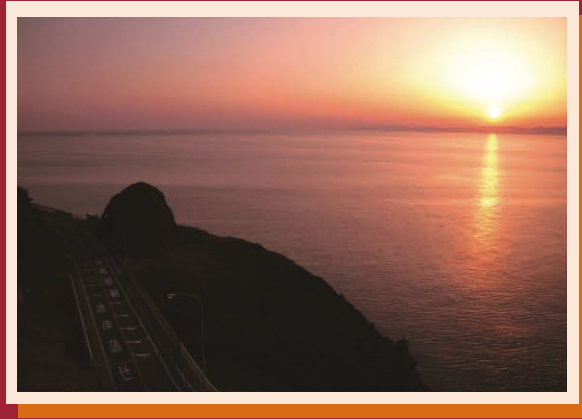
いわきの海と朝日【波立海岸】



郡山の街並み【郡山駅周辺】



会津の自然【磐梯山と稲穂】



新潟の海と夕日【越後七蒲ソサイドライク】

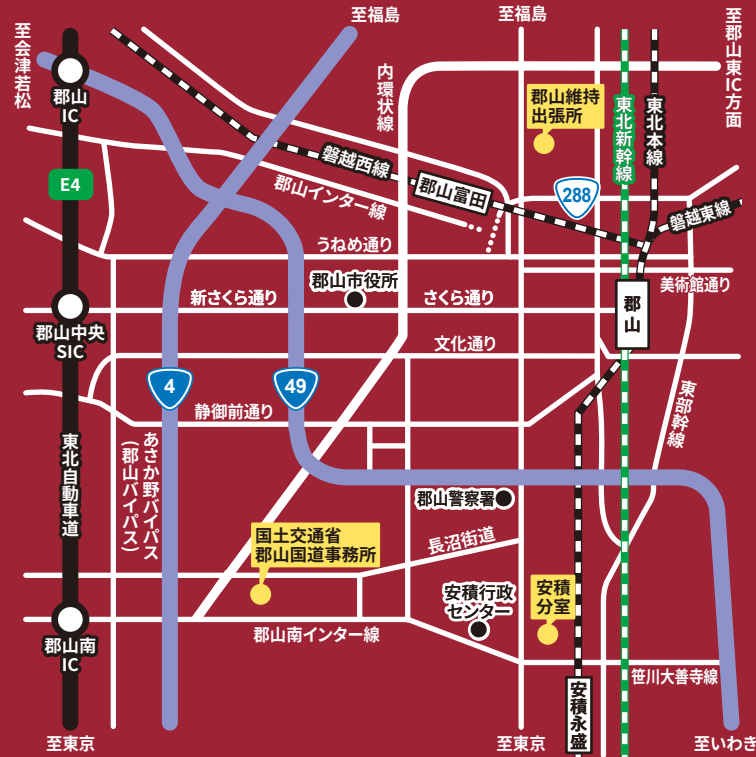


Koriyama National Highway Office
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land,
Infrastructure, Transport and Tourism



一般国道49号 会津防災

郡山国道事務所



郡山駅より 長沼行きバスにて約25分
鉦ヶ池団地行きバスにて約25分 (郡山国道事務所前下車)

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/koriyama/>



この製品はノンVOCインキを使用し、エコUV印刷機で印刷しています。

2024.03



Koriyama National Highway Office
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land,
Infrastructure, Transport and Tourism



国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所

〒963-0117 福島県郡山市安積荒井一丁目5番地
TEL.024-946-0333 (代)

直通ダイヤル

総務課 024-946-8160 調査課 024-946-8164
経理課 024-946-8161 管理課 024-946-8165
用地課 024-946-8162 交通対策課 024-946-8167
工務課 024-946-8163

郡山維持出張所

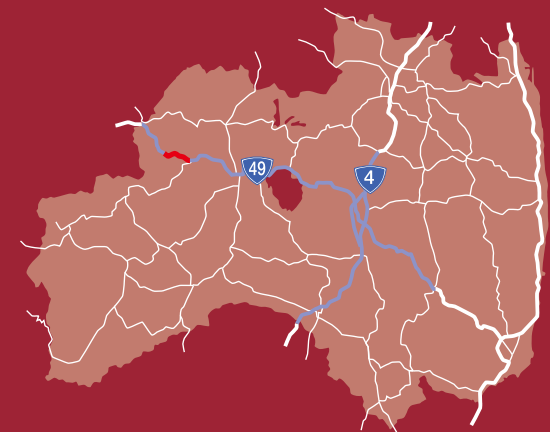
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字大原3番地
TEL.024-932-4486

安積分室

〒963-0107 福島県郡山市安積一丁目150番地1号
TEL.024-947-8160

会津若松出張所

〒965-0052 福島県会津若松市
町北町大字始字
北台105番地
TEL.0242-23-1241



人へ、地域へ、明日へ。
郡山国道事務所

太平洋と日本海を結ぶ大動脈を止まらない道に。

事業概要

一般国道49号は太平洋と日本海を結ぶ大動脈であり、いわき市、郡山市、会津若松市、新潟市などの主要都市をつなぐ、地域間交流・連携・産業経済に欠かすことのできない重要な路線です。

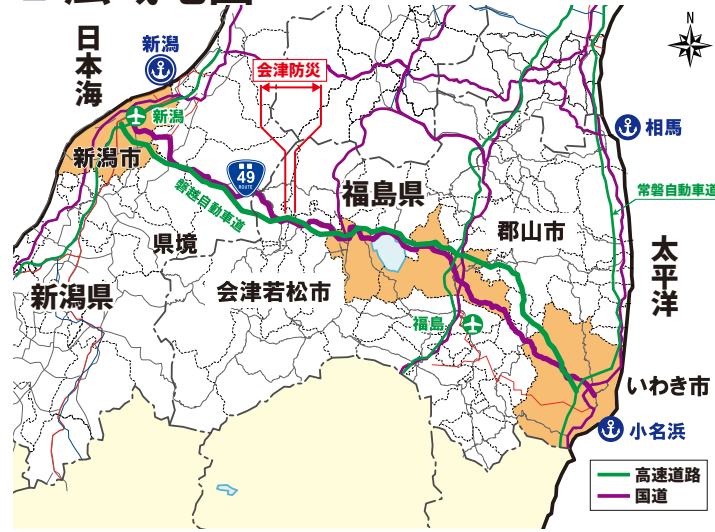
また、福島と新潟両県を行き来する交通の8割が国道49号及び並行する磐越自動車道を利用しています。

一方、会津地域は全域が豪雪地帯（または特別豪雪地帯）にあり、冬期間の交通障害が度々発生しています。

さらに柳津町と西会津町の間にある藤峠は、急峻な地形のため急勾配及び急カーブが連続し、大雨など異常気象時に落石等の災害が発生する恐れのある区間も有り、交通の難所となっています。

会津防災は、これらの問題を解消するために柳津町藤～西会津町睦合までの延長約3.3kmの2車線道路として計画されました。

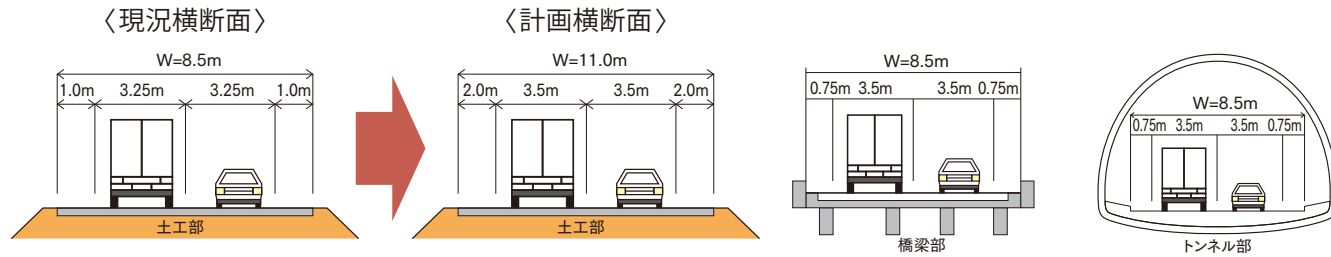
広域地図



道路規格

路線名	一般国道49号
構造規格	第3種第2級
計画速度	60km/h
車線数	2車線
事業経緯	平成26年度/事業着手
起点	河沼郡柳津町藤
終点	耶麻郡西会津町睦合
延長	3.3km

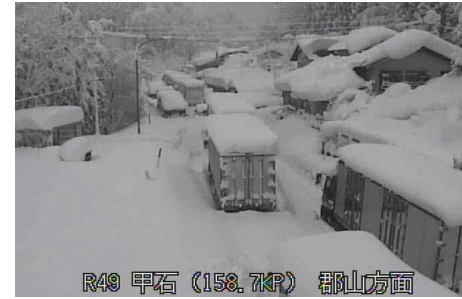
道路の断面



現道課題

冬期間の交通障害

豪雪により身動きが取れなくなった車列



R49 甲石 (153.7kP) 郡山方面 (H22.12.26発生)

急勾配・急カーブの連続

走行性、見通しの悪い現道

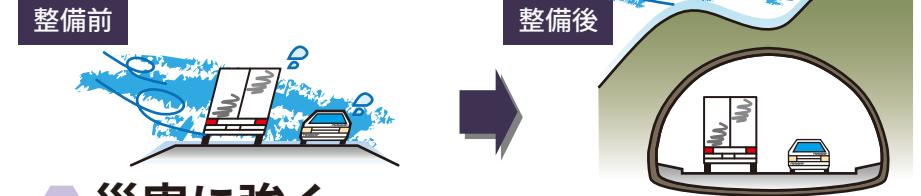


不動川と交差（唐目貫橋）付近

整備効果

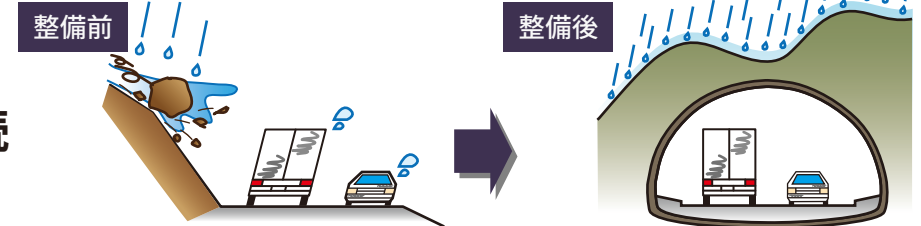
冬期の安全・安心の確保

トンネルにより風雪の影響を受けない道路へ



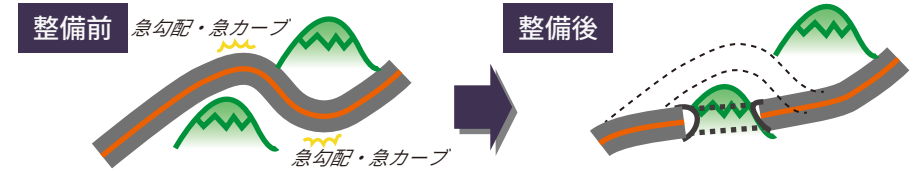
災害に強く

トンネルにより土砂災害の影響を受けない道路へ



走行性の向上

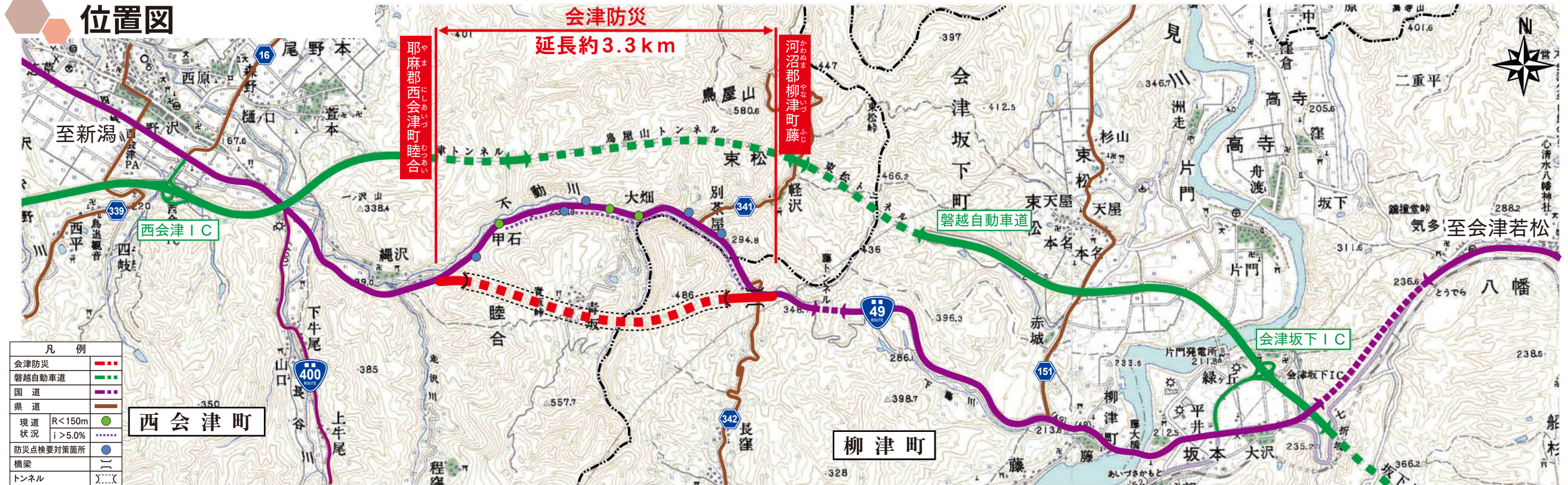
急勾配・急カーブの解消により走りやすい道路へ



災害時の緊急輸送路の確保

東日本大震災において緊急輸送路としての役割を果たした経緯もあり、冬期豪雪時などにおいても継続して緊急輸送路としての機能を確保、信頼性を高めます。

位置図



凡例	
会津防災	---
磐越自動車道	---
国道	---
県道	---
現道状況	R<150m i>5.0%
防災点検要対策箇所	●
橋梁	---
トンネル	---

【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平27情複、703号)】